

まえがき

2020年は年頭から新型コロナウイルス感染症により世界中に大きな影響がありました。東京オリンピック・パラリンピックの開催延期、緊急事態宣言による社会経済活動をはじめとした各種スポーツ活動の停止など、私たちの生活にも大きな変革を迎えた1年でありました。現在もなお、ウイルスと共存していく「新しい生活様式」withコロナが叫ばれております。

さて、国立登山研修所においても新型コロナウイルス感染拡大防止のため緊急事態宣言中は施設利用を停止するとともに、サテライトセミナー（仙台）をはじめ、計画していた8月までの研修会を止む無く中止しました。

感染拡大の落ち着きが見られた9月～11月には、安全登山指導者研修会や山岳遭難救助研修会を再開しました。試行錯誤ではありましたが、専門調査委員の皆様から助言を受け、定員の削減、アクリル板やフェイスシールド、防護服等を活用し感染防止対策を徹底した、withコロナの研修会モデルを全国に示すことができたと思っております。

また、12月に開催予定のサテライトセミナー東京を感染拡大防止のためオンラインで開催したところ、代替措置とはいえ400名を超す参加がありました。新型コロナウイルス終息が見えない中、これからもオンラインを用いた研修は大変有効的であると感じています。

「登山研修vol.36」は登山と新型コロナウイルスの特集といたしましたところ、各方面から登山界の現状や課題について寄稿いただきました。より多くの皆様にお読みいただき、withコロナに対応した登山を安心して安全に行われますとともに、新型コロナウイルス感染症が1日も早く終息することを願っています。

末筆になりましたが、お多用中にもかかわらず玉稿をお寄せいただきました執筆者の方々並びに編集委員の皆様に厚くお礼を申し上げます。

令和3年3月

国立登山研修所長 藤原 洋